

山弓連 平成21年12月

高校新人大会・全国選抜東日本予選

平成21年10月31日～11月1日

小瀬武道館弓道場

- 団体男子 1位 甲府工業高校A 2位 韮崎高校A
3位 韮崎高校B・巨摩高校B
- 女子団体 1位 富士北稜高校B 2位 韮崎高校B
3位 巨摩高校B・甲陵高校B
- 男子個人 1位 曾根孝貴(日川) 2年 7中
2位 小倉英明(甲工) 2年 7中
3位 早川朝康(韮崎) 2年 7中
- 女子個人 1位 五味翔子(韮崎) 1年 8中
2位 根津真弓(甲商) 1年 7中
3位 降矢早紀(甲南) 2年 7中

団体優勝校は3月大阪で行われる全国選抜大会へ出場、団体優勝校・2位校は12月山形県で行われる東日本大会へ出場『近年大会での的中率が悪く、県外大会での成績に影響があるのではと心配しています。本大会も同様に安定した的中を出すチームが少なく、少々物足りなさを感じました。そんな中でも優勝した、甲府工業・富士北稜は安定した力を発揮していたと思います。全体的に体配も含め技術は向上し、練習ではそれなりに良い結果を出しているとは聞くものの、晴れの場でそれが発揮できていないのが少々残念です。今後に期待したいと思います。』

高体連弓道専門部委員長 五味 光仁

第24回 県下 女子 弓道大会

平成21年10月4日(日) 小瀬武道館弓道場

高校の部団体(各自8射)

- 優勝・吉田高校Bチーム14中 早川佳那、森田美悠、堀内詩織
- 2位・富士北陵Bチーム12中 渡辺菜衣、小佐野梨沙、宮下凌瑚
- 3位・上野原Aチーム11中 西部友美、清水季帆、長田千春

- 個人1位・堀内詩織(吉田) 7中
2位・小佐野梨沙(富士北陵) 6中
3位・阿部永梨(山梨) 5中
- 一般の部個人1位・河西映里(南ア) 7中
2位・梶原久美子(笛吹) 6中
3位・野矢晴香(甲府) 5中

ぶどう祭り協賛県下弓道大会

平成21年9月27日(日) 好天に恵まれ、第56回ぶどう祭り弓道大会が県下弓友多数の参加を頂き盛大に行われま

した。平年より2週間早めた為私達の仲間が作ったぶどうは、今までより多品種のぶどうが参加者に振舞われました。参加者の方々がおいしそうに食べている笑顔が印象的でした。結果について報告いたします。

優勝・鍵和田哲史、準優勝・伏見康孝、3位・雨宮哲、4位・岩崎博、5位・宮崎翔 その他20位までと、記念賞、奨励賞がありました。

特に10位、15位、20位、記念賞、特別賞2名の方々には、ぶどう鉢盆栽を満面の笑顔で持っていかれました。次回もより良い賞品を(新しい品種を含め)を用意して弓友皆様の参加をお待ちしています。(勝沼町弓道部長・坂本武敏)

笛吹市石和町清流杯争奪弓道大会

11月1日(日) 9時から、笛吹市石和町清流館弓道場において「第16回石和町清流杯争奪弓道大会が開催されました。(遠的は15回目) 午後から曇ってきた天気でしたが、町内のお手伝いも含めて、約100名の参加者がありました。今年も賞品が石和町名産の「柿」で、昼食時の「トン汁」も参加者の皆様から好評で、秋の一日を楽しく過ごすことができました。(石和町 古屋二三男)

<近的の部>

- 団体優勝：富士吉田Aチーム 渡辺幸太・桑原良・鍵和田哲史 (15中)
- 準優勝：富士吉田Eチーム 渡辺大・白須吉人・齊藤勝利 (14中)
- 3位：甲府市Aチーム 橋本充・富永萌・中澤国弘 (14中)

- 個人優勝：渡辺正樹 富士吉田市 (8中)
準優勝：白須吉人 富士吉田市 (7中) 3位：桑原良 富士吉田市 (7中) 4位：富永萌 5位：伏見康孝

<遠的の部>

- 個人優勝：中澤国弘 準優勝：山下弘行
3位：渡辺幸太 4位：坂牧雅夫 5位：長沢和久

峡南地区秋季弓道交流大会 11月1日(日)

鯉沢町大法師公園弓道場

11月第一日曜日とあって各地とも祭典他各種行事が重なり参加人数はちょっと少なかったが内容の充実した見応えのある大会となった。毎にも個人の優勝決定戦は8中同志3名の射抜きとなり6回戦まで当て続け7本目でやっと決着すると言う熱戦であった。

4ツ矢3回計12射

- 団体第1位・増穂町23中(渡辺誠、大熊隆、井上貴雄)
第2位・南部町20中(佐野辰巳、馬目泰行、添田利孝)
第3位・鯉沢町20中(立川賢、望月繁実、新津要)
- 個人第1位・大熊隆8中 第2位・渡辺誠8中

平成21年度地域武道研修会

報告、受講生 森岡博文

平成21年10月24日(土) 午前8時50分～25日(日)
参加人数 38名 講師 中央講師(主任講師) 川村 光良
範士八段 澤田欣一 教士八段 地元講師 河西伊三男
教士七段 天野 裕 教士六段

研修会1日目は秋晴れのさわやかな気候のもとでスタート、開校式が行われました。この講習会の趣旨、受講者の心構え、講師の紹介等説明がなされ、受講生代表による唱導で「礼記射儀」「射法訓」を声高らかに唱和し緊張した講習会が始まりました。

矢渡し 射手は講師、介添えが受講者で矢渡しが行われました。矢渡し後、第1介添え、第2介添えの要点について細かい説明があり、指導する場合の心構え、特に、射手を含めた3人が心を合わせて行うことの大切さを学びました。・審査方式による一手行射 受講生全員による一手座射に対して、講師の先生方から講評をいただきました。チームとしての一致した射技の意義や、丹田の呼吸によった動作で射品射格が伴い味わいのある射になることが語られました。入、退場までの基本動作について全日本弓道連盟の決め事を守り、楷書できちんと日頃の稽古を行うことが求められた。更に、講師から指導者として全日本弓道連盟の規則をしっかりと身につけ、正しく指導していく事の大切さと心のありようが話されました。また、細かいところでは、大三の割り込みを充分に行うこと、及び残心の気合いの姿勢保持が要求されました。最後に講師から各動作における目使いや礼及び揖の動作に心をこめること。弓は強さに関する事等が指摘された。そして自己を見つめ、見る人を感動させるような射を各自の個性を生かしながらくっつけてほしい、毎日、10でも20でも引くこと。指導者のあり方として「癖あたりをなくす」等が求められました。

射技指導(午後4班編制) 4人の講師により各班に分かれて個人指導がされました。本座で肌脱ぎをして、射位に入り指導を受けました。日頃、自己流の射で楽に引いていた。弦道を手を取って指導され、よきしない所をも指摘され一人稽古の恐ろしさを知りました。初心者指導するときは褒めながら、希望を持たせる中で教えていく事も知りました。4人の講師から指導を受け、自己の取り組むべき課題を確認し、そこを徹底的に稽古する。一つの事を身につけるには数年はかかることを覚悟しなければならぬ。1回身につけたら、自転車の乗り方と同じで忘れない。あきらめず努力してほしい。

本日のまとめ 講師から、全体的に、入場に気迫が感じら

れない。さあやるぞという気迫を持ってほしい。自分と戦う意識を持って弓に取り組む。また、東北では大三を組むという。大三は花であるので大きく優雅に組み上げる。そこから骨格に合わせて丹田を意識して分ける(引くのではない)。迷ったら常に基本に立ち返る。基本からつれないように稽古を積み重ねる。このようなお話がありました。25日はあいにく曇りの天気、気迫に満ちた稽古がはじまりました。

研修会2日目の開校式は受講生代表による唱導で「礼記射儀」「射法訓」を声高らかに唱和し昨日に続いて緊張した講習会が始まりました。・講師2名による一つの謝礼が行われ、受講生が熱心に見取り稽古をしました。1本目の離れで弦切れがおき、射礼の時の弦切れの対応の仕方を正式に学ぶことが出来ました。弦が切れたため、射手の位置が変わりましたが全体の流れの中でよどみなくスムーズに行射が行われ感銘しました。射礼の時の「失」の処理の例を色々説明していただき普段できない研修となりました。また、先生方2人による一つの射礼のあとの研修で、射手相互の動作の呼応のタイミング、ポイント、肌脱ぎ、肌いれ動作の要領、大前の位取りの大切さ、本座に下がった時も気を抜かずきちんと膝を生かして気迫のある姿勢を保つ事等、細部にわたってまさにかゆいところに手の届く指導をしていただいた。・基本体の指導・弓を持たない時の立った姿勢から講習が始まり、手の位置、目線の位置、歩き方、回り方等を学びました。続いて執弓の姿勢から手の位置、目線の位置、歩き方、回り方、膝の生かし方等を徹底的に学び、体配の眼目は「大自然と一体になる」事である。それには呼吸に動作を合わせ、無駄を省く事であると話がありました。普段我流で行っていたか、使わない筋肉を使って疲れを感じました。

一つの射礼、持的射礼講師が2名ずつ別れて、錬士六段以上は一つの射礼、錬士五段までは持的射礼を行いました。終わってから、要所々々の注意点について細かくご指導をいただいた。ついで射技指導にあたり昨日からの継続の中で各自の射技の指導と今後の稽古の重点的に取り組むべき課題について、受講生一人一人に講師の先生方から熱心に手取足取りの指導がなされました。・審査形式の射技指導(午後)射技指導においては、審査の間合いで受講生が引くのに合わせて講師の先生方が受講生一人一人に指導がなされ、それぞれ次のステップへのアドバイスをいただきました。特に講師には肌寒さにもかかわらず両肌を脱がれて、筋骨の使い方(肩甲骨の働かし方)についてまさ身を以てご指導を下されました。日頃、離れで迷っていたので、骨格の合わせ方、呼吸の方法、重心の置き方等が大変勉強になりました。

開校式・山梨県弓道連盟天野会長から、受講生代表に「修了証」が手渡され、受講生全員に地域に帰って弓道を行う仲間を一人でも増やして指導してほしい要望がなされました。また、各自次なる向上にむけ今回の研修会で得た課題に取り

組み、上位の称号、段位にチャレンジしてほしいともお言葉をいただきました。

最後に、受講生それぞれの顔に現れていた充実感、満足感、そして講師の先生方に対する心からの敬意と感謝の気持ちがこの研修会の充実したものであったことを記して報告と致します。

第23回山日・YBS杯弓道選手権大会

主催 山梨日日新聞社・山梨放送

主管 山梨県弓道連盟

平成21年11月23日(日) 小瀬武道館弓道場

参加人数 女子の部28名 男子の部72名

称号の部22名

女子の部(予選通過者5名) 射詰結果

1位 白須由香(富士吉田)	初段	×○
2位 河西映里(南アルプス)	四段	××
3位 宮崎 梢(上野原)	二段	××

男子の部(予選通過者34名)

1位 伏見康孝(富士吉田)	三段	○○○○○○○
2位 樋口光雄(増穂)	三段	○○○○○○×
3位 深沢 勇(南アルプス)	五段	○○○○×
4位 米長朝喜(増穂)	四段	○○○×
5位 渡辺裕介(甲府)	三段	○×

称号受有者の部(予選通過者13名)

1位 中込 実(南アルプス)	錬五	○○○○
2位 高部保延(都留)	錬五	○○○×(遠近)
3位 若杉年久(笛吹)	錬五	○○○×(遠近)